

クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～ 華麗なるガラ・コンサート

次世代の巨匠たち、名曲の饗宴



©山岸 伸

飯森範親
(指揮)



©Ayako Yamamoto

松田華音
(ピアノ)



©Kei Uesugi

南紫音
(ヴァイオリン)



富田一樹
(オルガン)

大栗 裕:
大阪俗謡による幻想曲

グリーグ:
ピアノ協奏曲 イ短調 作品16
(ピアノ: 松田華音)

メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
(ヴァイオリン: 南紫音)

サン＝サーンス:
交響曲 第3番 ハ短調 作品78
「オルガン付き」
(オルガン: 富田一樹)



©梶田尚史
「クラシック・キャラバン2023」東京公演より

スーパー・クラシック・オーケストラ
(管弦楽)

堀江政生(司会)

2023 10.9 [月・祝] 15:00開演 (14:00開場) ザ・シンフォニーホール

S席 6,000円 A席 4,500円 B席 3,000円(全席指定/税込)

〈ご予約・お問合せ〉 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

チケット
フレイグアイド

- ◆ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード:241-874]
- ◆ e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)
- ◆ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード:54702]

主催: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 / ジャパン・アーツ 協力: ザ・シンフォニーホール

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

公演WEBサイトは
こちら▶▶▶



<https://www.classic-caravan.com>

＜次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。＞①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意下さい。④演奏中は入場できません。⑤未成年者の同伴はご遠慮下さい。なお就学年以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご購入下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

華麗なるガラ・コンサート

次世代の巨匠たち、名曲の饗宴

過去2回、大好評を博した「クラシック・キャラバン」大阪公演。今年はロマン派を代表する名曲3曲に加え、巨匠、朝比奈隆も愛奏した「浪速のバルトーク」大栗裕の代表作を取り上げます！オーケストラの豪華絢爛な響きと日本を代表するソリストの名技を堪能できるコンサート、ご期待ください！



飯森範親(指揮) Norichika Imori, Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、専属指揮者、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギー溢れる活動は高い評価を受けている。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。
オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

松田華音(ピアノ) Kanon Matsuda, Piano

6歳でモスクワに渡りE. P. イワノフ、M. ヴォスクレセンスキー、E. ヴィルサーゼ各氏に師事。ロシア最高峰の名門、グネーシン記念中等(高等)学校で学び、スクリャービン記念博物館より2011年度「スクリャービン奨学生」に選ばれ、外国人初の最優秀生徒賞を受賞し首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学、2019年6月首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。オーケストラとの初共演は8歳。これまでにミハイル・プレトニョフ、ワレリー・ゲルギエフ、アンドレア・パッティストーニ、ピエタリ・インキネン、秋山和慶、円光寺雅彦、尾高忠明、小林研一郎、高関健、飯森範親各氏の指揮の下、ロシア・ナショナル管弦楽団、マリンスキー歌劇場管弦楽団、ブラハ交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。2014年11月ドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。2017年6月に2枚目のアルバム「展覧会の絵」をリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。
公式HP: <https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>



©Ayako Yamamoto

南 紫音(ヴァイオリン) Shion Minami, Violin

2005年ロン=ティボー国際コンクール第2位および「セサム賞」を受賞して一躍注目を集める。2015年には、ハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞。ナポリで行われたアルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールでは、15歳にして優勝してイタリア・デビューを果たしている。国内主要オーケストラをはじめ、フランス国立管、リール国立管、サンカルロ歌劇場管、ミラノ・スカラ座弦楽合奏団とも共演。スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーは好評を博した。2020年、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を清水和音氏をパートナーに迎えて行い、大絶賛された。CD録音も積極的に行い、これまでに3枚リリース。北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。ドイツのハノーファーでは、クシントフ・ヴェグジン氏に師事。2005年北九州市民文化奨励賞、2006年福岡県文化賞受賞。2010年第11回ホテルオークラ賞受賞。2011年第21回出光音楽賞、2017年度北九州市民文化賞を受賞。



©Kai Uesugi

富田一樹(オルガン) Kazuki Tomita, Organ

大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞・首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻を修了。リュベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。オルガンをアルフィート・ガスト、土橋薫、ピアノを大竹道哉、古楽をハンス・ユルゲン・シュノールの各氏に師事。ライブツィヒ第20回パッサン国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第一位と聴衆賞を受賞。これまでに「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック賞(奨励賞)」「坂井時忠音楽賞」等を受賞。ドキュメンタリー番組「情熱大陸」(2016年12月)に出演。バロック音楽を得意とし、ザ・シンフォニーホールをはじめとして国内外で数多くの演奏会に出演。YouTubeにてパイプオルガンを紹介する活動も行う。
(一社)日本オルガニスト協会会員。



堀江政生(司会 朝日放送テレビアナウンサー) Masao Horie, MC

ニュース番組、情報番組の総合司会をしたあと、朝日新聞政治部に出身するなど記者活動も行う。現在「おはよう朝日です」月曜日ニュースコメンテーターを担当する。クラシック音楽愛好家であることから、ザ・シンフォニーホールでの「オールスター紅白オペラ歌合戦」「カウントダウン・コンサート」「ニューイヤー・コンサート」ほか、様々なコンサートで司会をしている。2013年からはABCラジオ「堀江政生のザ・シンフォニーホールアワー」(日曜日朝7時)のパーソナリティを務め、クラシック音楽の魅力や演奏家たちの生の声を届けている。また、ザ・シンフォニーホールの機関誌、「シンフォニア」にて巻末エッセイを執筆中。



難しい、だから面白い!奥深い本物のクラシックを“良いとこ取り”のガラ・コンサートで

「クラシック・キャラバン」はコロナ禍を乗り越えるため2021年に発足したプロジェクトで、今回3年目を迎えます。日本クラシック音楽事業協会加盟社が総力を結集し、通常の公演では実施し得ない最上級の出演者と、バラエティに富んだ内容、そして十分な聞き応えのあるオリジナルコンサートを、全国27都道府県で開催します。今回は日本を代表する音楽家を企画アドバイザーに起用しさらに芸術性を充実させる等、よりパワーアップした内容になりました。どうぞ心ゆくまでお楽しみください。

